



平成30年10月2日

練馬区立大泉学園小学校



朝晩は、肌寒く感じる日も増え、本格的な秋の訪れを感じます。いつの間にか日が暮れるのも早くなってきました。遊びや習い事の帰り道、暗くなっていることもあるかと思えます。

交通事故にあったり、こわい思いをしたりしないように、気をつけるようにしましょう。防犯ブザーが鳴るかどうか、お子さんがすぐに使えるようになっているかなど、ぜひご家庭で確認をお願いいたします。



10月の保健行事

	秋の歯科検診（全学年）	むし歯の有無をみます。当日の朝、歯みがきを忘れずに行きましょう。
4日（水）	RDテスト（5年生） （むし歯になりやすい状態かどうか調べる検査）	口の中が、今、むし歯になりやすい状態かどうか調べる検査です。歯科校医が唾液をスポイトで採り、それを試験紙に塗り調べます。結果は、プリントにてお知らせします。
19日（金）	岩井宿泊事前検診 （ひまわり全学年）	のどは赤くなっていないかなどをみてくださいます。



9月に学園小で発生した感染症

- * 感染性胃腸炎 … 1人
- * 溶連菌感染症 … 1人



☆都内での今季初のインフルエンザによる学級閉鎖が、発生しています。予防の基本である、せっけんを使った手洗いと、うがいを習慣化していきましょう。また、歯みがきもインフルエンザなどの感染症の予防に効果があることが分かっています。

せっけんを使って、手洗いしましょう ☆☆☆^{せ かい て あ ら い ひ}世界手洗いの日(10月15日)☆☆☆

『世界では、年間約630万人もの子供たちが、5歳までになくなっています。その原因の半数は、肺炎や下痢、マラリアなど予防ができる病気です。せっけんを使って手洗いをする^とこれらの病気を防いで、100万人もの子供の命が守れるといわれています。』

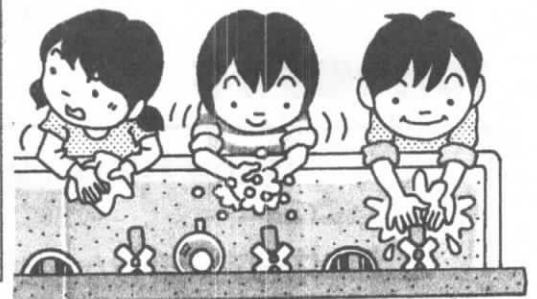
(*ユニセフの記事より抜粋)

感染症から体を守るために、自分でできる最もシンプルな方法が、「正しい手洗い」です。せっけんを使った正しい手洗いを広めるために、ユニセフが10月15日を世界手洗いの日と決めました。

みなさんも、元気に過ごすために、トイレの後、食事の前、学校での活動の後、外から帰ってきた時など、せっけんを使って手を洗うようにしましょう。

保健委員が活躍しています!

学校の流しやトイレにあるせっけんは、5・6年生の保健委員の当番が、せっけんがなくなっていないかどうかチェックしています。学園小のみんながせっけんで手洗いして元気にいられることを願って、がんばって活動しています。時々、「0年生のところの流しのせっけんは、あまり減っていない…」と心配してくれる保健委員もいます。



10を横にすると、まゆ毛と目のように見えるので、10月10日が「目の愛護デー」になりました。

ゲームやパソコン、スマホなどの画面を長い時間見ていると、目に負担がかかり視力の低下や体の不調となって現れることがあります。

使う時間の目安を決めて、自分の目をいたわる生活をしましょう。

最近、こんなことはありませんか?

こんなことがある場合は、眼科で詳しく調べてもらいましょう。

★黒板に書いてある文字や、小さな文字などが見えにくい。

★見るときに目を細めてしまう。

★ボールをキャッチするのが苦手になった。

(左右で見え方に差が出ていることがあります。)

